

19章 キャビテーション

「アマルガムは一本もないし、水銀レベルも低く根管治療歯もありますが、調子が悪いんです。ブレイナー先生何が悪いんでしょうか？」とある患者が聞いてきた。そのような患者の場合、キャビテーションが問題であることがよくある。キャビテーションは新しいことではないのだが知らない人が多い。歯科医もあまり良く知らない。

◇キャビテーションとは？

キャビテーションは骨にある穴で、通常抜歯したところで骨がうまく増殖して埋まらなかった部位である。キャビテーションは骨ならどこでも起きるのだが最も多く見られるのが顎の骨、それも親知らずの部位である。

歯を抜いたとき歯科医は通常歯を包んでいる歯根膜を取らずに残している。骨は骨があった場所の空間を埋めようとする。しかし、歯根膜が残っていると、不完全な形成となり顎の骨の中に穴やスポンジ状の部位を残すと考えられる。

この不完全な治癒が起こるのは、膜が残っているとその両側の骨細胞がまだ歯が残っていると感知するためではないかと考えている研究者もいる。しかし、抜歯をしたのが優秀な外科医で歯根膜が取り除かれても患者はうまく治らない可能性がある。これが特に当てはまるのは毒性の高い人である。

◇毒の貯蔵タンク

顎のキャビテーションは1800年代から知られていて呼び名も虚血性骨壊死、神経痛誘発性キャビテーション骨壊死 (NICO)、顎の骨髄炎など多数ある。この病変は痛みもしみも炎症も起こさないのが特徴である。沈黙しているため見逃されることが多い。こうした顎の骨の病変は肥溜めのようなもので毒の溜まり場となり、水銀さえも溜めると言われている。

ケンタッキー大学の化学部長ボイド・ヘイリー博士の研究ではキャビテーションの毒はボツリヌス菌よりも強いことが示されている。貴方の体が毒を締め出すことができるなら大丈夫だが、根管治療歯がそうであるように毒が体に回ったらありとあらゆる症状が出る。

抜いた歯の部位をX線像で見ると残った歯根膜が歯の影のような像に見られる。その像があれば、キャビテーションである場合が多い。この幻のような像に気付いている歯科医は多いのだが、問題になるものとは考えていない。

キャビテーションによる痛み

38歳のトーマスが左足のふくらはぎの麻痺のための神経療法を行った医師の紹介でやってきた。神経療法ではこの症状が消えなかったが、この医師は治療が必要と思われるキャビテーションをいくつか見つけた。

私が見た時は、親知らずの所が一箇所と、10代の矯正のために抜いた4本の小臼歯の抜歯跡にキャビテーションがあった。この5箇所をEAVでエネルギー信号のバランスが取れるホメオパシー薬を注射した。トーマスは検査にそってさらに何度か治療に来て完全にキャビテーションを治した。

数ヵ月後定期健診に来たトーマスは足の筋肉が元に戻り、1マイル走るのに20年前と同じタイムで走れるようになったと報告してきた。

トーマスは健康オタクでランニングファンだったので、この問題を解消するのに5年間で5万ドル以上使っていた。

医者がキャビテーションのことを言わなかったら、ふくらはぎの問題の答えが口の中にあるとは誰も気付かなかったことだろう。

◇中に隠れているものは？

キャビテーションの中には細菌が溢れ変性細胞が増殖して、細菌とその毒の溜まり場になっている。この細菌の排泄物は非常に強烈であることが分っている。キャビテーションは体のエネルギー経路を遮断しシステム全体に悪影響を起す。大量の水銀を溜めていたキャビテーションもあるという調査結果もある。キャビテーションは全身に強い、あるいは弱いストレス源になりうる。

◇キャビテーションの有無はどうすれば分るのか？

これまではキャビテーションがあるかどうかを知ることは難しかった。MRIとCATスキャンでもある程度は検出できるが、高価で放射線にさらされるし、ほとんどの医療関係者は顎骨のキャビテーションを見分けられない。歯のX線像にキャビテーションが写ることもあるが、それも歯科医が見分けられる場合に限る。骨の僅かなきめの違いとしか現れない場合もある。担当歯科医がキャビテーションを意識して見なければX線像も「正常」としか映らない。キャビテーションの部位を見つける別の方法がある。例えば、キャビテーションのある部位の付近を軽く叩いたり押したりすると痛みを感じることもある。

体に影響を与えているキャビテーションを知る最善の方法は、EAV（フォル式電気鍼 32章）を使うことである。EAV検査は痛みを伴わない鍼の経路のストレスを

知る方法である。極めて正確で、EAVの短所といえば損傷の視覚イメージがないことだ。大勢の人にキャビテーションはあると思うが、根管治療歯同様全てのキャビテーションが悪影響を及ぼしているわけではない。EAV検査は問題を起こしているキャビテーションだけを検出する。

EAV装置は診断装置とはみなされていない。従って、患者は自分が得られた証拠全てを理解した上で治療をどうするか決めなければならない。

キャビテーションは大なり小なり全身へのストレスになりうる。キャビテーションは体のエネルギー経路を遮断しシステム全体に悪影響を与えることがある。

今日ではキャビテーションを探るFDA承認のCavitatという診断装置がある。超音波装置で放射線はなく、1mmの大きさのキャビテーションも検出できるほど精度が高い。しかし、Cavitatを使ってみて、また他に使っている人の結果を見ると、この装置は非常に熟練度に左右されやすく誤検出も多い。私にとってEAV検査がキャビテーションの検出や、その患者への影響を知るには最高の装置である。

自分の歯科医がなぜキャビテーションのことを一言も言わないのか、なぜほとんどの歯科医がキャビテーションが分からないのか疑問に思うかもしれない。キャビテーションに関する情報は歯科病理の本や歯科文献にずっと掲載があることは間違いない。キャビテーションはどんな骨にでもできるもので医師はそれを分っている。歯科医がどうしてそのことについて情報が少ないのか分からない。キャビテーションの存在を否定し治療する歯科医を起訴している歯科学会があることは承知している。

◇NICO 神経痛誘発性キャビテーション骨壊死

NICOは、顔面痛の原因としてキャビテーションを認識した研究者が付けたキャビテーションの呼び名である。キャビテーションが三叉神経痛、その他の顔面痛の原因であることは、見逃されている場合が多い。三叉神経痛は、三叉神経に影響し強烈な痛みを与え、時に人々を自殺に追い込むほどである。それを防ぐために神経そのものを切断することもある。

三叉神経痛や他の顔面痛がキャビテーションによるものかどうか調べるために、骨のキャビテーションに直接特別製の針で麻酔剤を数滴注射してみる。

三叉神経痛が本当にキャビテーションによるものであれば、麻酔剤を打ったとたんに痛みが治まる。長年苦しめられてきた患者は痛みが突然消えるとびっくりす

る。もちろんこれは一時的な解消であるがキャビテーションがうまく治療されれば恒久的なものになる。

◇SICO

顔面痛へのキャビテーションの影響が理解されつつあるのは幸いであるが、キャビテーションによる離れた身体部位への影響はほとんど理解されていない。主要経絡へのキャビテーションの影響は深刻な健康障害になる。私はキャビテーションを「SICO（疾病誘発性キャビテーション骨壊死）」と呼ぶほうが患者の総合的健康への影響が表現できて良いと思う。ボイド・ヘイリー博士は、多数のキャビテーションサンプルを分析して、全てに生物学的毒物があるのを発見している。

歯科医の探偵カルテ

抜歯後の問題

アンドレアは、診察の時とても神経質だった。彼女は親知らずを抜いて以来、その辺を触ると唇に激的な痛みが走るのだと言った。それに抜歯後、唇と歯肉の痺れも続いていると言う。何度か診察しているうちに、恐怖を克服して強烈な痛みを感じる抜歯した部位を、診察させてくれるようになった。キャビテーションができているのが確認でき、ホメオパシー薬を直接その部位に注射した。痺れが消え、触れてもひどく痛がらなくなり、唇にも激的なショックのような痛みがなくなった。症状が消えて10年になる。

◇良くできる部位

キャビテーションが良くできる場所は第3大臼歯のところ（親知らずを抜いた所）で、次が根管治療歯を抜いた後の部位である。親知らずの経絡はたくさんの臓器（心臓も）がつながっているなのでこの部位のキャビテーションは特に心配である。フォル博士は親知らずの部位のキャビテーションは高齢期の主要な心臓疾患の隠れた原因だと考えていた。

何年か前、私は不整脈になり、ビタミン、ミネラルのサプリメントもハーブやホメオパシー薬も利かなかった。EAVで検査すると左下の親知らずの部位にキャビテーションが一つ見つかった。

外科的にキャビテーションを搔爬することで数日のうちに問題は解決した。親知らずを抜いたのは25年前だ！ 症状が出るまで、私の体はその毒とこの経絡のエネルギーの流れの障害を補完できていたのだ。

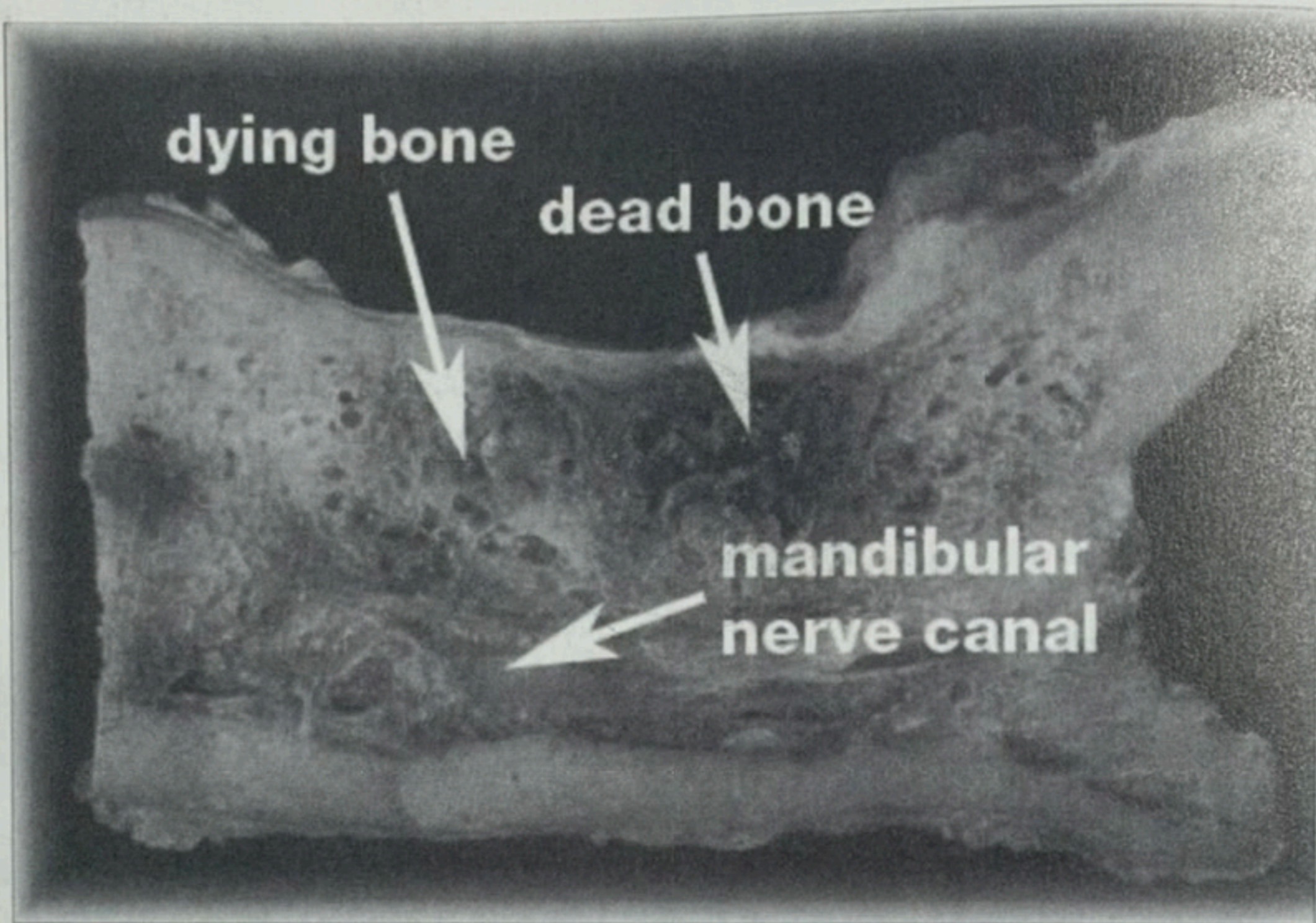


図 19.1 下顎のキャビテーションの写真

◇根管治療歯とキャビテーションに関する健康障害

根管治療とキャビテーションに関係すると分っている健康障害には以下のものがある。

貧血、アンギナ、盲腸炎、動脈硬化、関節炎、喘息、気管支炎、大腸炎、膀胱炎、糖尿病、アトピー性皮膚炎、心内膜炎、癩癩^{てんかん}、胆嚢障害、痛風、心疾患、高血圧、甲状腺機能亢進症、虹彩炎、偏頭痛、腎炎、神経痛、神経炎、鼻炎、頻脈、扁桃炎、静脈瘤

待った！ 関節炎はこのリストに入るのか、キャビテーションから発症するのか。簡単な答えはYesだ。しかし、関節炎はいろいろな原因によって発生する。医師に、総合的な毒の量、ライム病、その他の要因を総合的に検査してもらう必要がある。原因が分らなければ、完全な全身歯科検査をすべきであろう。歯科の観点からは、キャビテーション、水銀、根管治療歯の全てが関節炎に関ると同時に、それ以外の上記のリストにあるあらゆる健康障害にも関係している。